

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生建築&デザイン専門学校	平成9年11月26日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-11-13 (電話) 092-415-2292				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999				
目的	日用品、家電、自動車などの製品に関する材料、造形、色彩の知識を習得し、機能的で実用性のあるデザインの計画、構想から具現化までの工程を学習する。また、3次元CAD利用技術者試験の取得を目指しながらハイエンドの3次元CADを体得することによりデジタルエンジニアの分野で活躍できる専門技術者を育成することを目的とする。						
分野	課程名	学科名		専門士	高度専門士		
工業	工業専門課程	プロダクトデザイン科		平成25年文部科学大臣告示第3号	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2040	870	1470	0	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	24人	2人	5人	7人			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 5段階評価。3分の2以上の出席が必要			
長期休み	■学年始め:4月1日 ■夏期休業:7月27日～8月31日 ■冬期休業:12月25日～1月7日 ■春期休業:3月19日～4月10日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件	単位数を取得していること 卒業基準検定を取得している 学年の出席率が90%以上 学生としてふさわしい生活態度			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 カウンセラーによるカウンセリング		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 自動車メーカー、家具メーカー ■就職率 ^{※1} : 90% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 76.9% ■その他 進学1名、未就職1名 (平成27年度卒業者に関する平成28年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等	3次元CAD利用技術者 カラーデザイン検定 イラストレータ能力認定試験			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成27年5月1日 在学者 29名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 28名 (平成28年3月 卒業者をを含む)		■中退率 3.4%				
■中途退学の主な理由 進路変更、健康問題							
■中退防止のための取組 ガイダンス カウンセリング 学生・保護者・担任での三者面談							
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/act/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものとす。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や地域産業振興の方向性等について、意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的として、教育課程編成委員会を設置し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。また、広く建築業界の動向や求められる知識レベルを把握するためお客様アンケートを実施し、現場の求めるニーズを確実に捉え、本校の授業内容やカリキュラムに反映する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
植田 義孝	ユーデザイン設計 代表
上原 淳司	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部長
合瀬 理栄	国際カラーデザイン協会 九州支部長
竹口 伸一郎	麻生建築&デザイン専門学校 校長
熊野 学	麻生建築&デザイン専門学校 校長代行
今泉 清太	麻生建築&デザイン専門学校 主任
高山 裕明	麻生建築&デザイン専門学校 教員
稲吉 貴博	麻生建築&デザイン専門学校 教員

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年7月10日 15:30～16:30
平成27年度 第2回 平成27年10月16日 15:30～17:00
平成28年度 第1回 平成28年7月1日 予定
平成28年度 第2回 平成28年10月28日 予定

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等とのヒアリング及びお客様アンケートの情報に基づき、将来技術者(建築士など)として活躍するために、学んだ知識やCAD等の技術、コミュニケーション能力等の実務適応能力の確認をおこなうことを目的とする。

現場で活かされる実習を通して、必要な創造力や発想力を養っていく。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
プロダクトデザイン 実習Ⅱ A・B	プロダクトデザインの基本的概念を理解する。プロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	ユーデザイン設計

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

「職員研修規程」に基づき計画的に教員を研修に参加させる。研修は、教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。

教職員に対し、専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を、教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、受講者はその内容を他教員へ展開することで、全教員のより高度な職務を遂行するために必要な知識を付与することを目的とする。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
尾ノ上 由美	H28年度 建築工学科在校生 保護者
尾ノ上 一輝	H27年度 建築工学科 卒業生
川藤 勝治	博多区博多駅南2丁目4区自治会 自治会長
高木 秀樹	株式会社 九州住宅リフォーム 代表取締役

横山 猛	株式会社 九州三田技術コンサルタンツ センター長
高崎 強	株式会社 久米設計 主管
戸田 康仁郎	株式会社 大設計 総務部長
田中 靖雄	株式会社 エヌ・アンド・シー 管理本部長

三並 恒功	株式会社PBM CEO
上原 淳司	株式会社 ダイキエンジニアリング 人事部長
重枝 武司	福岡県立福岡工業高等学校 校長
太田 昌宏	愛知産業大学 准教授

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_act.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (学校法人麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/act/> (麻生建築&デザイン専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(工業専門課程プロダクトデザイン科) 平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			AutoCAD A	2次元CADの基本的概念を理解すると共に、2次元CAD (AutoCAD) のコマンドを習得する。CAD利用技術者試験2級合格を目指す。	1前	30	2	○			○			○	
○			AutoCAD B	2次元CADの基本的概念を理解すると共に、2次元CAD (AutoCAD) のコマンドを習得する。CAD利用技術者試験2級合格を目指す。	1後	30	2	○			○			○	
○			一般教養 A	一般常識及びSPI対策に取り組む。また、SPI試験にペーパーテスト及びWebテストがあり両方に対応できるよう学習する。	1前	30	2	○			○			○	
○			一般教養 B	一般常識及びSPI対策に取り組む。また、SPI試験にペーパーテスト及びWebテストがあり両方に対応できるよう学習する。	1後	30	2	○			○			○	
○			3DCAD検定対策 A	3DCADを扱う上で必要な基礎知識や周辺機器知識概念の習得を目的としている。また、3次元CAD利用技術者試験2級合格を目指す。	1前	30	2	○			○			○	
○			3DCAD検定対策 B	3DCADを扱う上で必要な基礎知識や周辺機器知識概念の習得を目的としている。また、3次元CAD利用技術者試験2級及び準1級 (任意) の合格を目指す。	1後	30	2	○			○			○	
○			ビジネスマナー A	さまざまな職務のベースとなり、ビジネスを語る上で欠かせない必須知識、社会で必要なビジネスマナーを学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
○			ビジネスマナー B	さまざまな職務のベースとなり、ビジネスを語る上で欠かせない必須知識、社会で必要なビジネスマナーを学ぶ。	1後	30	2	○			○			○	
○			3次元CAD A	3次元CADソフトウェアの基礎知識及び操作方法の習得を目的とする。	1前	60	4	○			○			○	
○			3次元CAD B	3次元CADソフトウェア基礎知識及び操作方法の習得を目的とする。	1後	60	4	○			○			○	
○			就職実務 A	就職活動における実践的能力を身につける。就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。	1前	30	2	○			○			○	

○		就職実務 B	I	就職活動においての実践的能力を身につける。就職活動のスタートにあたり、準備を行い、早目の活動開始を促す。	1後	30	2	○		○	○						
○		Photoshop/Illustrator IA		アプリケーションの操作方法を身につけ、自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。	1前	30	2		○	○	○						
○		Photoshop/Illustrator IB		アプリケーションの操作方法を身につけ、自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。	1後	30	2		○	○	○						
○		色彩学 A		色彩の基本的知識の習得と、配色知識および、色彩検定3級取得を目標とする。	1前	30	2	○		○							○
○		色彩学 B		色彩の基本的知識の習得と、配色知識および、色彩検定2級取得を目標とする。	1後	30	2	○		○							○
○		プロダクトデザイン実習 IA		プロダクトデザインの基本的概念を理解するプロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	1前	60	4		○	○							○
○		プロダクトデザイン実習 IB		プロダクトデザインの基本的概念を理解するプロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。	1後	60	4		○	○							○
○		表現技法 IA		自分の発想、考え方を、形に表現できる力を身につける 鉛筆デッサンを中心にものの正しい見方を学ぶ。	1前	60	4		○	○							○
○		表現技法 IB		手書きを中心としたデザイン力を身につけ自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。	1後	60	4		○	○							○
○		パソコン演習		Excelの基礎知識と基本操作を習得する。情報リテラシーを身につける。Excel表計算処理技能認定試験3級取得を目標とする。	1前	30	2		○	○							○
○		デザイン概論		デザインという概念、デザイン関連職の種類と内容、デザインが社会にもたらす価値、デザイナーに必要な能力と知識等を学ぶ。	1後	30	2	○		○							○
○		機械製図 A		製図総則 (JIS Z 8310-1984) 及び機械製図の緒規格について十分理解する。	1前	30	2	○		○							○
○		機械製図 B		製図総則 (JIS Z 8310-1984) 及び機械製図の緒規格について理解する。機械製図・機械設計の基礎的な知識を身につける。	1後	30	2	○		○							○
○		C A T I A IA		企業との提携により作成しているCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習する。	1前	60	4		○	○							○

○		プロダクトデザイン実習ⅡB	プロダクトデザインのプロセスを理解し、課題を通じて一通りのプロセスを体験する。プロダクトデザイナーに必要な技術、人間性を身につける。(納期、期限)	2後	90	6		○	○					○	○
○		3次元CAD A	3次元CADソフトウェアの応用操作を学ぶ。主にサーフェスマデリングの方法、トップダウン設計手法について学習する。	2前	60	4		○	○					○	
○		3次元CAD B	3次元CADソフトウェアの応用操作を学ぶ。主にサーフェスマデリングの方法、トップダウン設計手法について学習する。	2後	60	4		○	○					○	
○		CATIA A	企業提携によるCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について学習し、CATIA技術者認定資格を目標とする。	2前	30	2		○	○					○	
○		CATIA B	企業提携によるCATIA技術者育成カリキュラムに沿ったCATIAの操作について基礎から学習し、CATIA技術者認定資格を目標とする。	2後	30	2		○	○					○	
○		Photoshop/IllustratorⅡA	アプリケーションの操作方法を身につけ、自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。	2前	30	2		○	○					○	
○		卒業制作A	卒業制作のためのデザインプロセスを学習しパネル制作及びモデル制作を行う。	2前	60	4		○	○					○	
○		卒業制作B	卒業制作のためのデザインプロセスを学習しパネル制作及びモデル制作を行う。	2後	90	6		○	○					○	
	○	数学ゼミA(選択)	専門教科に必要とする基礎数学を含めたSPI授業を行う。	2前	15	1		○						○	
	○	数学ゼミB(選択)	専門教科に必要とする基礎数学を含めたSPI授業を行う。	2後	30	2		○						○	
	○	プロダクトデザイン概論A	プロダクトデザインの専門知識を深め、プロダクトデザイナーに必要な技術、人間性を身につける ※A	2前	30	2		○						○	
	○	プロダクトデザイン概論B	プロダクトデザインの専門知識を深め、プロダクトデザイナーに必要な技術、人間性を身につける ※A	2後	30	2		○						○	
	○	グラフィックデザイン概論	プロダクトデザイン以外のWEBデザインやDTPデザインやイラストといった、グラフィックデザインの基礎を学ぶ。 ※A	2前	30	2		○						○	
	○	表現技法ⅡA	自分の発想、考え方を、形に表現できる力を身につけ、ポートフォリオの素材となるような作品を作成する。 ※A	2前	30	2		○						○	

○	表現技法ⅡB	ものの正しい見方を学び、手書きを中心とした表現で自分のアイデアを、早く正確に表現できる力を身につける。※A	2後	30	2	○	○	○							
○	Photoshop/illustratorⅡB	アプリケーションの操作方法を身につけ、自分のアイデアを、より早く、正確に表現できる力を身につける。※A	2後	30	2	○	○	○							
○	プロダクトデザイン検定対策	プロダクトデザイン検定2級合格を目指しテキストを中心に5回の小テストで実力をつけて合格を目指す。※A	2後	30	2	○	○	○							
○	機械工学A	もの創りの基礎となる機械工学（材料力学・機械力学）の基礎を学習する。※B	2前	30	2	○	○	○							
○	機械工学B	もの創りの基礎となる機械工学（流体力学・熱力学）の基礎を学習する。※B	2後	30	2	○	○	○							
○	3DCAD制作A	デザイン・納期を意識した3Dモデル作成のためのテクニック習得。※B	2前	30	2	○	○	○							
○	3DCAD制作B	デザイン・納期を意識した3Dモデル作成のためのテクニック習得。※B	2後	30	2	○	○	○							
○	CAM A	CAMの基本操作を習得し3DCADで作成したデータを用いて作品制作を行う。※B	2前	30	2	○	○	○							
○	CAM B	CAMの基本操作を習得し3DCADで作成したデータを用いて作品制作を行う。※B	2後	30	2	○	○	○							
○	工学実験	実験やものづくりを通して機械工学の内容を学習する。※B	2後	30	2	○	○	○							
合計			52科目			2040単位時間(136単位)									

※Aグループまたは ※Bグループのいずれかを選択。

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
最終学年の終了時において、履修すべき全授業科目（実習を含む）に合格し、当該学年における単位数を取得していること。 出席率が当該学年の出席時間数の90%以上であること。 国土交通省が定めた規定の時間を満たした者。 学生としてふさわしい生活態度であること。 上記基準を満たせない者は、他の成績科目、出席状況などを参考に卒業判定会議により判定する。	1学年の学期区分	2期	
	1学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。